

明治期の日本銀行の風景 一本店支店のたたずまい

日本銀行は明治15(1882)年に設立され、当初はジョサイア・コンドルにより建てられたレンガ造りの既存の建物を利用して営業を開始しました。その後、コンドルに学んだ辰野金吾により、初の国家的近代建築として日本銀行本店が明治29(1896)年に建てられました。

日本銀行の支店も、既存の建物を利用して営業を開始した後、明治期を通じて徐々に近代建築の新店舗が各地に建てられていきます。今回の展示では、明治期の日本銀行本支店の建物やその周辺の街並み、当時の店舗内の風景を、絵画資料や写真などを通してご紹介します。

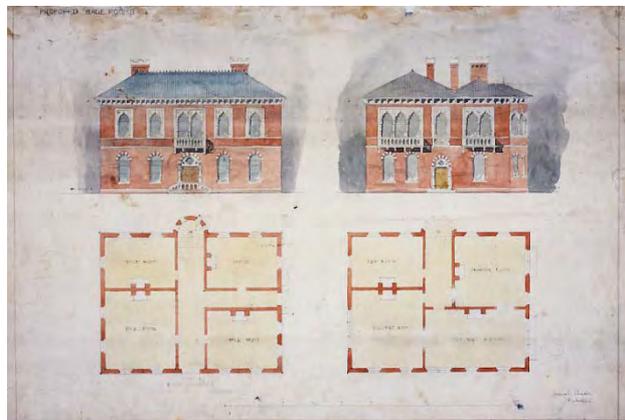
※資料保護のため、会期中一部資料の展示替え、複製展示をいたします。

日本銀行創業当初の本店の風景

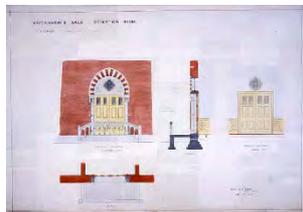
明治150年特別展 来館記念スタンプ 「永代橋際日本銀行の雪」より



日本銀行は、永代橋の袂にあった北海道開拓使物産売捌所の建物を本店として、明治15年に創業した。



開拓使物産売捌所 立面図・平面図 明治11(1878)年
サイン Josiah Conder Architect 日本銀行アーカイブ蔵



正面玄関詳細図 サイン S.Satachi

コンドル設計による開拓使物産売捌所は、明治14年に竣工したが、翌年2月に開拓使が廃止され、10月からは日本銀行本店として利用された。

コンドルは辰野金吾や佐立七次郎など工部大学校造家学科の生徒に実習を兼ねて図面を描かせた。

日本銀行本店 新店舗とその周辺の風景



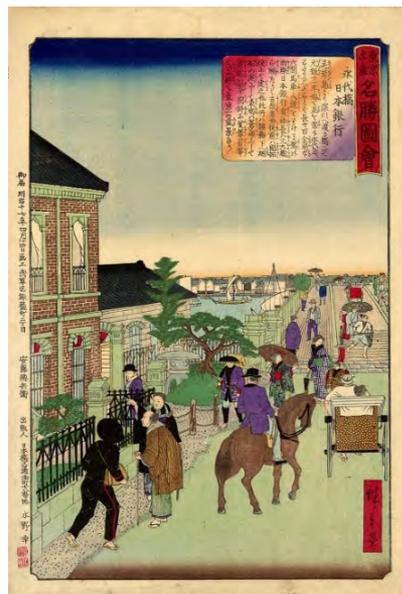
大日本帝国政府日本銀行全景 明治29年

日本銀行本店の新店舗は、明治23(1890)年に着工、明治29年に竣工し、永代橋から移転した。

周辺には東側には和洋折衷の三井銀行、西側の外堀を挟んでレンガ造の印刷局(紙幣寮)が建ち、日本銀行本店を含めいずれも東京の新たな風景として錦絵に描かれた。



常盤橋内紙幣寮之図 明治13(1880)年



東京土産名勝図会 永代橋日本銀行 明治17(1884)年



東京名所図会 する賀町三ツ井銀行 明治11年

明治期の日本銀行支店の風景

日本銀行は創業から約2ヶ月後に大阪支店を設置した。その後、日本銀行券の流通、国庫金事務や民間金融を円滑にするため、明治20年代から支店を全国に設置した。

その多くは、本店同様、まずは既存の建物を利用して営業を開始した。明治29（1896）年に本店の店舗が竣工すると、各店の業務が拡大する中で順次、辰野金吾により新しい店舗がつくられていった。



小樽派出所・出張所 明治26年設置
 既存の建築を利用して営業開始。
 明治45（1912）年新店舗竣工。
 現在、日本銀行旧小樽支店金融資料館として公開。

港をのぞむ風景の中の小樽支店



函館支店新店舗と街の風景
 明治44（1911）年竣工

函館出張所 明治26（1893）年設置
 北海道の出張所・派出所は三井銀行の国庫金事務からの撤退により明治26年に一斉に設置された。函館出張所は旧三井銀行函館支店を利用して営業を開始した。



福島出張所 明治32（1899）年設置
 既存の建築を利用して営業開始。
 ● 明治44年新店舗着工、大正2（1913）年竣工。

福島支店新店舗と商家が建並ぶ通り



広島出張所
 明治38（1905）年設置



金沢出張所
 明治42（1909）年設置



西部支店
 西部支店と鎮西橋
 明治26年下関に設置
 明治31（1898）年門司へ移転



大阪支店 明治15（1882）年設置
 明治36（1903）年新店舗竣工



本店と外堀にかかる常磐橋
本店 明治15年創業
 明治29年新店舗竣工



三条通りに建てられた京都出張所

京都出張所 明治27（1894）年設置
 明治39年新店舗竣工



名古屋支店と広小路通
名古屋支店
 明治30（1897）年設置
 明治39（1906）年新店舗竣工

ここで紹介した店舗はいずれも明治時代の終わりまでに支店となった。